

日々是Oracle APEX

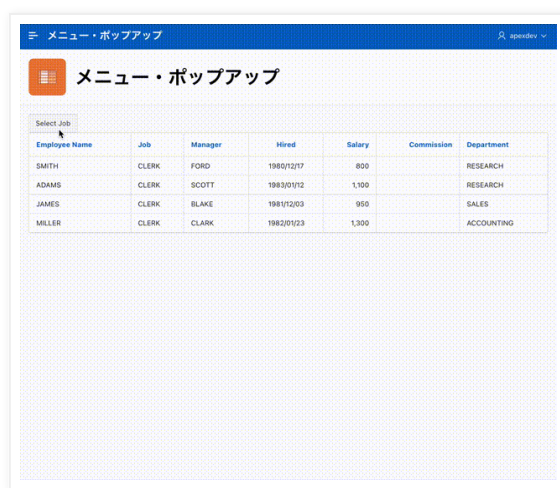
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年2月1日水曜日

メニュー・ポップアップから任意の処理を呼び出す

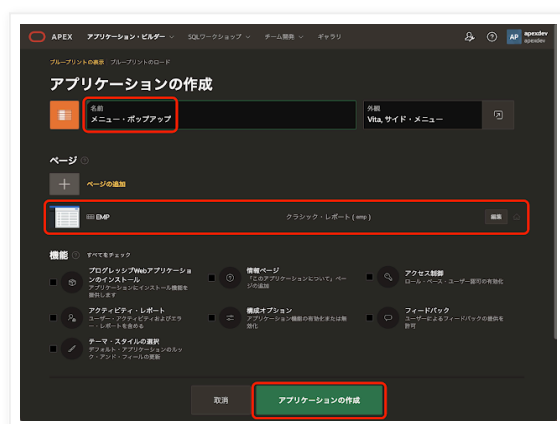
メニュー・ポップアップから任意の処理を呼び出すことができないか、という相談がありました。メニュー・ポップアップは、[Universal ThemeのリファレンスのMenu Popup](#)で紹介されています。

メニュー・ポップアップでJOBを選択することで、表EMPのレポートをJOBごとに表示するような実装を試してみました。



以下より、実装について紹介します。

アプリケーション作成ウィザードを起動し、表EMPのクラシック・レポートを追加したアプリケーションを作成します。



アプリケーションが作成されたら、ページ・デザイナーにてクラシック・レポートが実装されているページを開きます。

検索条件となるJOBを保持するページ・アイテムを作成します。

識別の名前はP1_JOB、タイプは非表示とします。JavaScriptで値を設定するため、設定の保護された値はOFFにします。



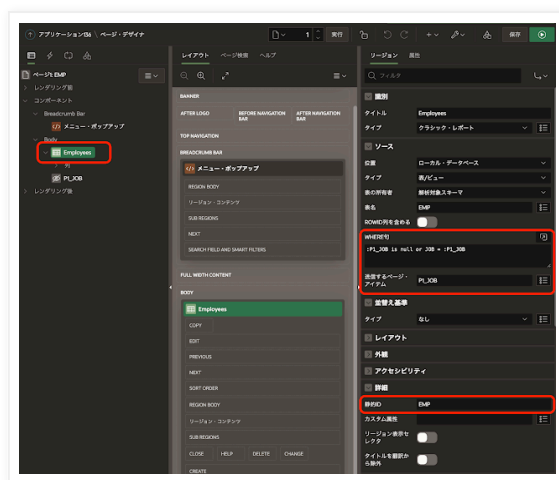
クラシック・レポートに検索条件を設定します。

ソースのWHERE句として以下を記述します。

:P1_JOB is null or JOB = :P1_JOB

送信するページ・アイテムにP1_JOBを指定します。

JavaScriptよりリージョンのリフレッシュを呼び出すため、詳細の静的IDとしてEMPを割り当てます。



メニュー・ポップアップに使用するリストを作成します。

共有コンポーネントのリストを開きます。

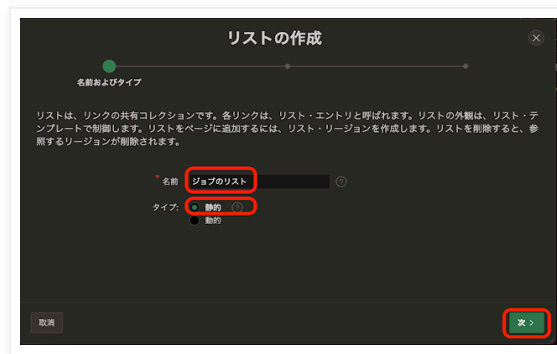


作成済みのメニューが一覧されます。作成をクリックします。



作成するリストの名前は**ジョブのリスト**とします。**タイプ**に**静的**を選択します。

次へ進みます。



リスト・エン트리・ラベルとして**ANALYST**、**CLERK**、**SALESMAN**、**MANAGER**、**PRESIDENT**を指定し、**ターゲット・ページID**または**カスタムURL**はすべて**#**を指定します。

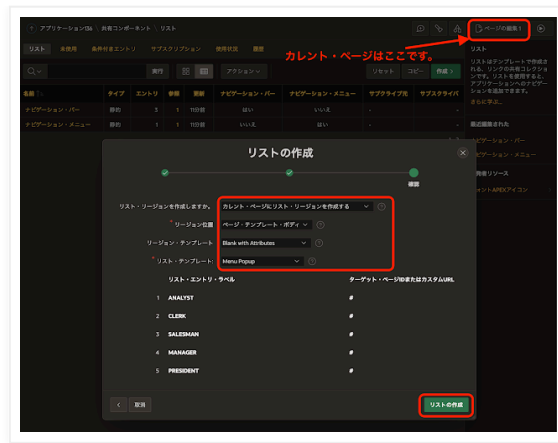
表EMPの内容が日本語の場合は、リスト・エン트리・ラベルを日本語のJOBの内容にすることもできます。

次へ進みます。



リスト・リージョンを作成しますか。として**カレント・ページ**にリスト・リージョンを作成するを選択します。クラシック・レポートが作成されているページが**カレント・ページ**であることを、右上のページの**編集ボタン**より確認します。**リージョン位置**は**ページ・テンプレート・ボディ**、**リージョン・テンプレート**は**Black with Attributes**、**リスト・テンプレート**は**Menu Popup**を選びます。

リストの作成をクリックします。

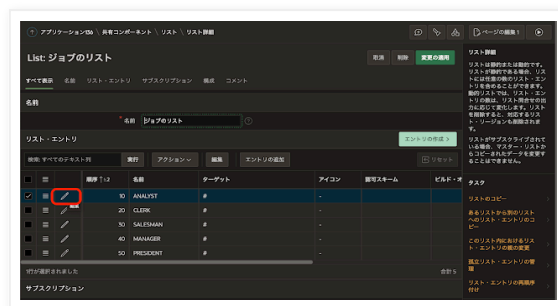


リストジョブのリストが作成されます。

作成されたリストのリスト・エントリにアクションを紐づけるため、リストジョブのリストを開きます。



リスト・エントリの鉛筆アイコンをクリックします。



リスト・エントリのユーザー定義属性のセクションに移り、1. Menu Item ID / Action Nameにアクション名を設定します。リスト・エントリANALYSTにはselect-job-analystを設定します。

ページ・ロード時にここで指定した名前で、apex.actionsのアクションが作成されます。(テンプレート・オプションのAdd Actionsにチェックを入れる必要あり)

変更の適用をクリックします。



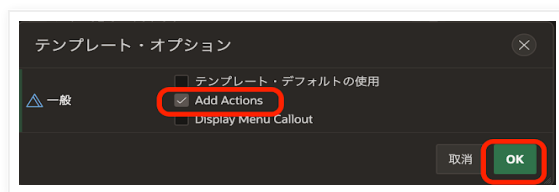
同様に、それぞれのリスト・エントリに**select-job-clerk**、**select-job-salesman**、**select-job-manager**、**select-job-president**を設定します。

ページ・デザイナーに移り、作成されたリストのリージョンを選択します。

プロパティ・エディタで属性を開き、外観のテンプレート・オプションを開きます。



Add Actionsにチェックを入れます。



リストのリージョンに静的IDとして**selectjob**を設定します。

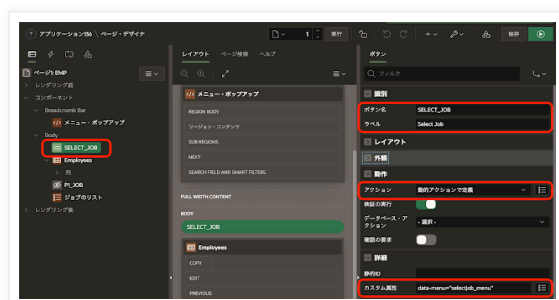


メニュー・ポップアップを開くボタンを作成します。

識別のボタン名を**SELECT_JOB**、ラベルを**Select Job**とします。動作のアクションとして動的アクションで定義を選択します。

詳細のカスタム属性として**data-menu="リスト・リージョンの静的ID_menu"**を設定します。今回の実装ではリスト・リージョンに静的IDとして**selectjob**を設定しているため、設定値は以下になります。

data-menu="selectjob_menu"



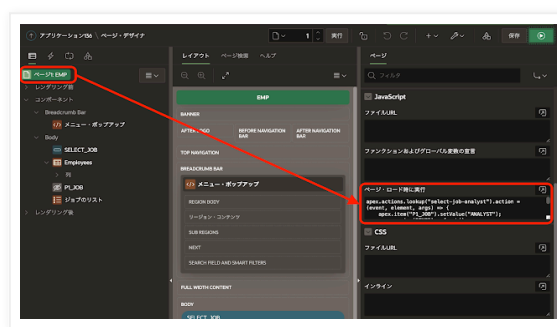
メニュー・ポップアップを開き、リスト・エントリが選択されたときに実行されるコードを記述します。

以下のコードをページ・プロパティのJavaScriptのページ・ロード時に実行に記述します。リストがロードされたときに作成されているアクションの属性actionに、実行されるコードを記述しています。

```
apex.actions.lookup("select-job-analyst").action = (event, element, args) => {
    apex.item("P1_JOB").setValue("ANALYST");
    apex.region("EMP").refresh();
};
apex.actions.lookup("select-job-clerk").action = (event, element, args) => {
    apex.item("P1_JOB").setValue("CLERK");
    apex.region("EMP").refresh();
};
apex.actions.lookup("select-job-salesman").action = (event, element, args) => {
    apex.item("P1_JOB").setValue("SALESMAN");
    apex.region("EMP").refresh();
};
apex.actions.lookup("select-job-manager").action = (event, element, args) => {
    apex.item("P1_JOB").setValue("MANAGER");
    apex.region("EMP").refresh();
};
apex.actions.lookup("select-job-president").action = (event, element, args) => {
    apex.item("P1_JOB").setValue("PRESIDENT");
    apex.region("EMP").refresh();
};
```

menu-popup-actions.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



以上で実装は完了です。アプリケーションを実行すると、記事の先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/menu-popup-with-action.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 14:21

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
